

今回は食事介助時の姿勢についてお知らせします

みなさんは日頃、患者さんの食事介助を行っていると思いますが、**介助者は立位で介助を行っていますか？それとも椅子に座って介助を行っていますか？**介助者の姿勢によって患者さんの食べる姿勢が変わってきます。今回は、患者さんが安全に食事を摂取できるように、食事介助を行う介助者の姿勢についてお知らせします。

介助者の姿勢について

立って食事介助を行うと下の写真のように介助者の手の位置が高くなることで、患者の目線も高くなり、頸部が後屈します（図1）頸部が後屈することで自然と誤嚥（気管に食べ物は入る）を起こしやすい姿勢となります。

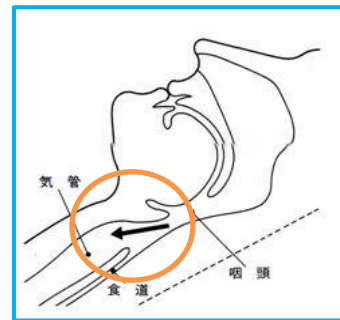


図1

介助者が椅子に座って介助を行うと下の写真のように自然と患者さんと同じ目の高さとなり、頸部は後屈せず、前屈します（図2）その体位は食事摂取時の誤嚥を予防することにつながるため、介助者の姿勢が重要になります。

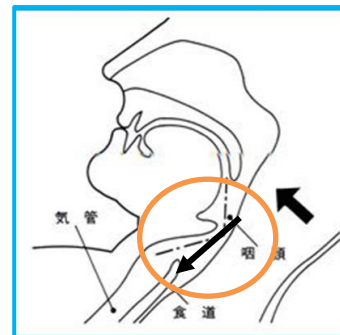


図2

担当：摂食・嚥下障害看護認定看護師 原 久美子

お知らせ

★★ 認定看護師フェア 日程変更について ★★

8月発行の認定看護師レターでお知らせした、院外医療従事者を対象とした「救急看護研修会」は **11月24日(木)に変更** となります。

参加の募集は、後日お知らせいたしますので、奮ってご参加ください。

